



ぶうげんびりあ御愛読の皆さま、新年が始まり一ヶ月が過ぎましたが、いかがお過ごしでしょうか。私たち愛の浜園では、新年早々から、皆さまにご心配をかける事が多くありました。職員のコロナウイルスの感染、トンガ海底火山噴火に伴う津波警報での高台避難と、とても怖い思いをしました。それでも、コロナの対策は、BCP(福祉施設の事業継続計画)を作成実施、津波の避難は実際に訓練を数回していた為、利用者さんも落ち着いて行動する事ができました。また、避難の際は、地域の町内会長さんをはじめ、地域の皆さまのご協力を頂き、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。私たちは、この経験から多くの事を学び、周りの人に守られている事を感じました。一番大切な事は普段からの訓練、準備をする事ですが、いつの日も、災害がなく、健康で穏やかにある事を願うばかりです。課長代理:市田

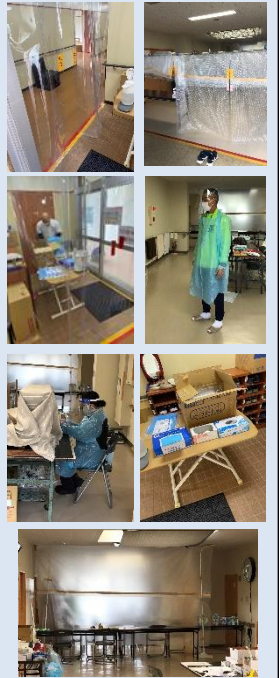
## 2月行事予定表

- 1日(火):体重・血圧測定
- 9日(水):健康相談  
コロナ予防接種3回目
- 16日(水):総合防災訓練
- 17日(木):健康診断(男性)
- 21日(金):健康診断(女性)
- 22日(火):音楽の日
- ※お花見ドライブ  
(随時)

## 職員の新型コロナウイルス感染について(お詫び)

年明け早々、奄美大島では新型コロナウイルスの陽性者が確認され、その後爆発的に感染が拡大いたしました。本園においても、職員には繰り返し感染防止を呼び掛けてまいりましたが、1月8日に職員1名の陽性が判明、1月17日には2例目の感染者が確認されました。また、職員の家族の感染が判明し、数名が濃厚接触者となり出勤停止となるなど、大きな影響がありました。

ご家族の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけしました。深くお詫び申し上げます。このような状況を受け、本園ではBCP(事業継続計画)に基づく対策会議を開催し、法人本部、保健所などと連携して感染防止対策を協議し、ご利用者への感染防止に努めてまいりました。また、ご家族の皆様には、お電話でお知らせするとともに、面会禁止などのご協力をお願いいたしました。感染防止対策としましては、男性棟および就労棟のゾーニング(棟内でガウン、手袋、フェイスシールドを着用)、使い捨て食器の使用、居室での食事提供などを行いました。通所により生活介護、就労B事業をご利用いただいている皆様には、この間のサービス利用を中止させていただくなど、外部との接触を極力控えてまいりました。このような対策により、ご利用者に感染させることなく、1月25日からは平常業務に復帰することができました。これもひとえに、ご家族、ご利用者をはじめ、関係機関の皆様のご協力の賜物だと感謝申し上げます。未だ、鹿児島県におきましても、新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。今後は、さらに気を引き締めて、感染防止対策に努めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。(園長 奥田 敏文)



部署及び共用部分の環境整備

## お誕生日おめでとうございます!



池田 ヨシエさん 泉 光太郎さん



光 優輔さん 里 優子さん



政岡 りつ子さん 中田 茂代さん

**グループホーム フレンド便り** 令和3年度歳末助け合い寄付金(赤い羽根共同募金)より今年は豊島世話人の娘さんがデザインしたお相撲さんのプリントTシャツを購入しました。利用者それぞれに希望の色を選んでもらいました。赤、オレンジ、イエローと色とりどりのカラーを選んでいました。胸の所とバックにもお相撲さんが描かれており、可愛いプリントTシャツになりました。毎年、皆様からの善意でご寄付を頂き、感謝しております。ありがとうございました。また、お正月はお寿司などを食べ、ゆったりと楽しく過ごしました(記事:福山)



## 月間三賞受賞者

### <努力賞>

- ・伊元 サチ子さん…①衣服を洗濯に出す手順をスムーズに取り組む事ができました。  
②ぶうげんびりあの記事を頼んだ際、快く引き受けて書いてくれました。
- ・宝田 元気さん…正月帰省の際、落ち着いて、飛行機に乗る事ができました。
- ・叶 絹代さん…入院生活を頑張る、園での生活を楽しむことが出来ています。
- ・里 喜美子さん…身体の調子が良い時に、着替えの準備や車椅子からベッドへの移乗等自分の出来る事を頑張る事ができました。
- ・藤島 亜由美さん…ウォーキングなどの時は職員の励ましにより、足を上げてすり足にならないように歩く努力が出来ました
- 橋田 忠治さん、栄 徹さん  
…検査を落ち着いて受ける事ができました。

### <努力賞>

- ・中田 茂代さん…グループホームで入浴を自分で取り組む事が出来ました

### <親切賞>

- ・平田 広人さん、皆田 綾子さん、濱手 輝代さん  
…津波で避難する際、玄関のカギを開けてくれました。

### <奉仕賞>

- ・生野 由子さん…GHの周りの草取りをしてくれました。
- ・隈元 利彦さん…寮内の清掃作業を手伝ってくれました。

施設入所、GHの利用者の皆さん全員に【努力賞】1月16日深夜、津波避難の際、就寝中にもかかわらず、誰一人取り乱したりする事無く、落ち着いて避難する事ができました。(利用者さんの行動に感銘を受けた。日頃の防災訓練の成果が出たと感じた。)  
(職員一同)

# 大切な命を守りたい 日々の訓練が活かされた日



1月15日からまもなく日付が変わろうとするその時、携帯電話に入った避難指示。その日夜勤だった私は、「もしや誤報では、誤報であってくれ」と、すぐに市田課長代理に電話をかけました。その矢先に鳴りだしたサイレン、その15分後には津波警報が発令されていました。「現実だ。まずは私が落ち着こう。」小さく深呼吸。「皆が不安に思わないように」、これまでの避難訓練で数々の失敗を重ねて得た教訓でした。「起きてください。一緒に避難しますよ。」と、利用者が驚かないよう、慌てないように小声で一人一人に声をかけていきました。すぐに地域に住む職員が駆けつけてくれ、全員を起こして本館前に集合。すると知名瀬の豊島区長はじめ、地域の方々、そして職員も次々に駆けつけてくれました。奇しくも、私たちは昨年11月に津波の避難訓練を行ったばかりで、それが功を奏したと今となっては思っています。避難場所は大浜第二駐車場、配車から乗車誘導、避難場所での誘導や人数確認。連携を取りながら、一人も残すことなく避難をすることができました。避難場所では、第二陣で運ばれた緊急用のトイレや非常食、飲料水でその夜をしのぎました。利用者の皆さんはとても落ち着いており、誰ひとり不平を言わず静かに過ごしてくださいました。改めて、愛の浜園の利用者の皆さんは凄いなと思いました。そして職員の皆さん。残した家族に託して駆けつけた職員、年老いた親や子供を守る為に家族で避難した職員、渋滞にはまってなかなかどり着けなかった職員、遠方ですぐには来られなかった職員。皆想いはひとつ、「大事な命を守りたい」でした。守れてよかった。体調不良者もけが人もなく、一夜を越すことができ、16日午前7時30分、津波警報が注意報になり園長が帰園を判断、8時30分全員無事に帰園することができました。反省点は多くありますが、とにかくみんなが無事で本当に良かったと心から思っています。無事であったからこそ、今回のことは、私たちの大変貴重な経験になりました。この先、いつ何が起こるか、その時私たちはどう動くべきか。この経験を活かし、これからも、職員が一丸となって備えていきたいと思えます。そして、大事な命を守っていきたく思います。御家族、関係者の皆様もどうか御無事でいてくださるようお願い申し上げます。（記事：松原（充））



年に一回、津波を想定し、公用車を使用した避難訓練を行っています。上、訓練写真

## 12月・1月の愛の浜園

